

まちの



# としょかんだより



## 読書週間 おすすめリスト



芸術の秋です。絵や音楽、舞台など、心を豊かにするものが出てくる本を紹介します。

	タイトル	作者	発行所	請求記号
1	手にえがかれた物語	岡田 淳/作	偕成社	91才
2	ぼくの、ひかり色の絵の具	西村 すぐり/作	ポプラ社	91二
3	げきだん 劇団6年2組	吉野 万理子/作	学研教育出版	91ヨ
4	The manzai	あさの あつこ/作	岩崎書店	91ア
5	ピーターと象と魔術師	ケイト・ディカミロ/作	岩波書店	93デ
6	夢へ翔けて 戦争孤児から世界的バレリーナへ	ミケーラ・デプリンス/著	ポプラ社	76デ
7	よみがえる二百年前のピアノ	佐和 みずえ/著	くもん出版	76サ



## こちらもおすすめ



### 『クローディアの秘密』(岩波少年文庫)

E. L. カニグズバーグ/作 岩波書店(93カ)

少女クローディアは、弟を誘って家出をします。行く先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館。そこでこっそり生活するうちに、二人はミケランジェロ作とされる天使の像に隠された秘密に気がついて…。



### 『たいせつなわすれもの』

もりむら やすまさ/著 平凡社(70モ)

「芸術」ってむずかしい。どうして、ヘンな絵や写真やガラクタのようなものが美術館で展示されているの?



「芸術」がもつ力について、やさしい言葉で教えてくれる本です。“みんなが忘れていた大切なものを、もう一度問いかける” そんな展示会の作品を説明してくれます。

